



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	オープンアクセスとは？
Relation	北海道大学附属図書館 本館 正面玄関ホール（展示）．2015年10月19日（月）～11月2日（月・祝）． Hokkaido University Library (exhibition). Monday, October 19th, 2015 - Monday, November 2nd, 2015.
Issue Date	2015-10-19
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/60208
Type	lecture
File Information	OpenAccessWeek2015_01.pdf



学術成果のオープンアクセスと **HUSCAP** オープンアクセスとは？

オープンアクセスとは？

障壁のない学術成果へ

オープンアクセスとは、学術雑誌論文やその他の学術成果を、インターネットを通じて経済的、法的、技術的な障壁なく利用できるようにすることと定義されています。背景には、学術雑誌価格の高騰や出版社への著作権委譲（論文の著者は著作権を委譲するため、再利用するために出版社の許可が必要）といった問題があります。

その定義は、BOAI（ブダペスト・オープンアクセス・イニシアチブ）で2002年に明確化されました。2012年には新たにBOAI 10が発表されています。

オープンアクセスウィーク（OAW）とは？

オープンアクセスウィーク（OAW）は、アメリカのSPARCが主催する、オープンアクセスの意義を周知する世界的なイベントです。期間中は、オープンアクセスに関する様々なイベントが世界各国で集中開催されます。

オープンアクセスでなにが起こるか？

大学や研究機関に属さない人々、一般市民が学術情報を入手する機会を得ることが期待されます。一方、大学の研究者からは、障壁の影響を受けることなく、多くの研究者に情報を発信することができるようになります。

オープンアクセスを実現するには？

BOAIは、オープンアクセスを実現する具体的な方法として、セルフ・アーカイブとオープンアクセス・ジャーナルの二つを提唱しています。

セルフ・アーカイブとは、著者が自分のウェブサイトや研究機関・教育機関の電子アーカイブに論文を登録し、インターネットで公開することです。

北海道大学附属図書館では、セルフ・アーカイブを進めるため、HUSCAPを運営しています。

もう一方のオープンアクセス・ジャーナルとは、読者が雑誌購読料を支払うのではなく、研究助成団体の出資や著者の投稿料などにより発行されたもので、学術論文を誰でも読めるようになっています。

オープンアクセスと著作権

通常、学術論文の著作権は受理時に学会・出版社に委譲されます。そのため、再利用には許諾を得る必要がありますが、多くの学会・出版社は一定の条件のもとにセルフ・アーカイブを許容しています。

HUSCAPへの登録に当たっては、附属図書館で出版社や学会ごとに公開可能か調査や問合せをしています。